JaLC　Update

Japan Link Center（JaLC）
2022年12月15日

JaLCについて

DOIとは・・・

→講演「世界のDOIの現状」にて解説

⇒ Digital Object Identifier とは、コンテンツに割り当てられる PID（Persistent ID：永続的識別子）の一つ。

⇒ 対象コンテンツへのリンク(URL)と1:1で紐付けられている学術コンテンツのマイナンバーのようなもの

⇒ **永続的なURLが与えられ、リンク切れを防ぎ、対象コンテンツに確実に到達できる。**

DOI prefix　DOI suffix

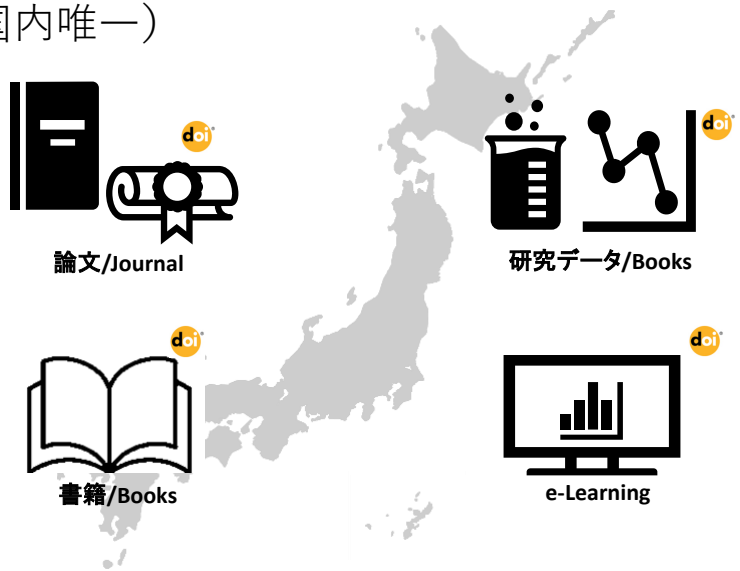
DOIの例： 10.1241 / johokanri.57.936

アクセスする際のURL ⇒ https://doi.org/10.1241/johokanri.57.936

- ISOにより標準化された規格(ISO26324:2012)。
- 各機関固有の**DOI prefix**と、個々のコンテンツを特定する**DOI suffix**とを「/」でつないで並べた構成。
- **DOI登録機関(RA)**によってDOI登録を行う

JaLCについて

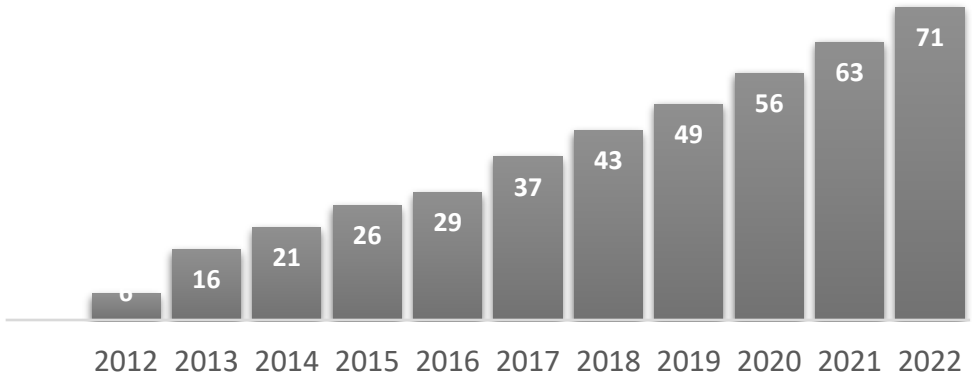
- 2012年3月にDOI財団に認定されたDOI登録機関（国内唯一）
- 日本国内の電子化されたコンテンツにDOI を登録
  【DOI登録対象コンテンツ種別】
  ジャーナル論文、書籍、
  研究データ、eラーニングなど



- 国内学術機関（4機関）が共同で運営
  国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）　※事務局
  国立研究開発法人物質・材料研究機構（NIMS）
  大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所（NII）
  国立国会図書館（NDL）
- 正会員：71機関、準会員：2,865機関（2022年11月末時点）

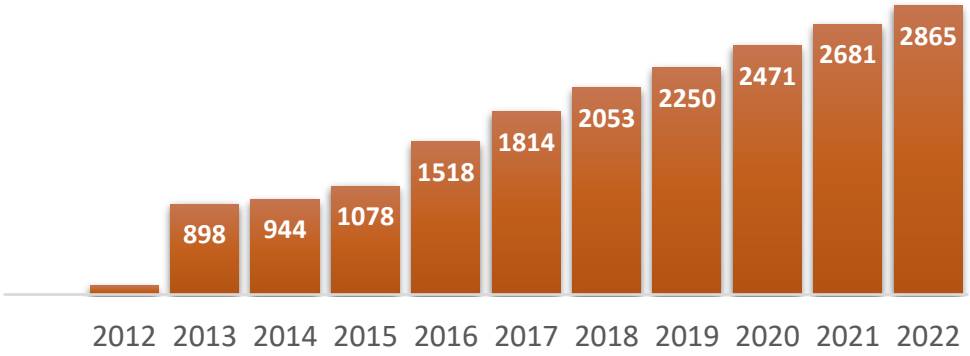
JaLCについて

正会員数



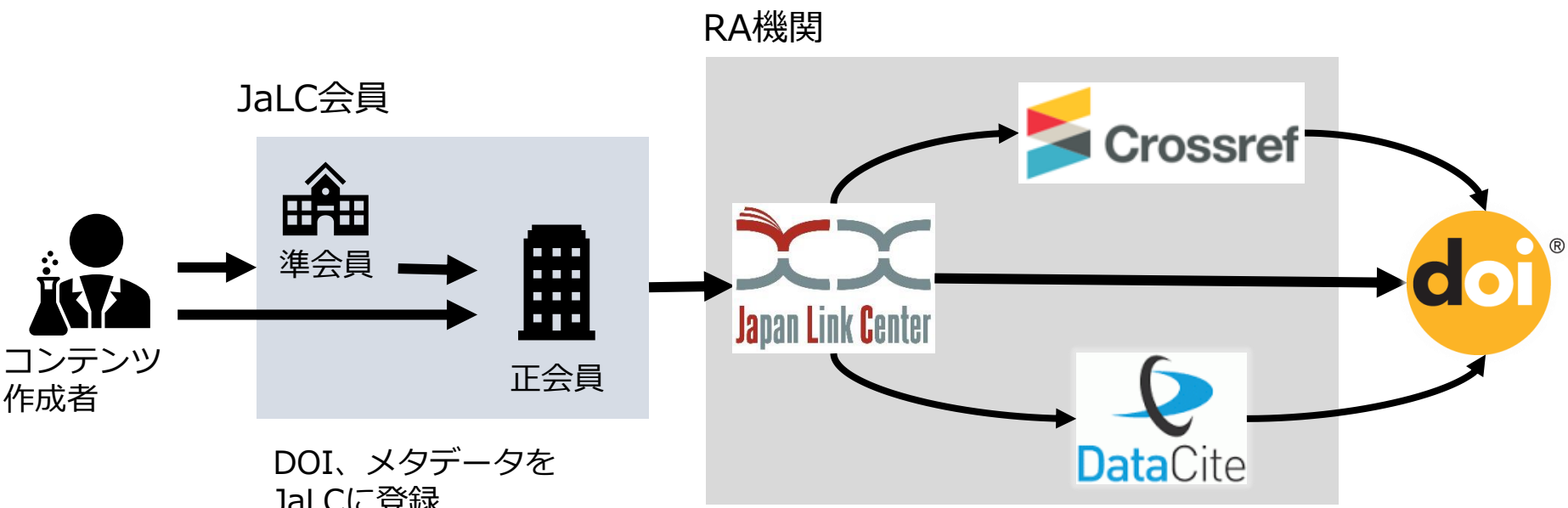
正会員：
直接JaLCのDOI登録サービスを利用している国内の研究機関、学会、出版社等

準会員数



準会員：
正会員を通してDOIを登録している国内機関
例）
J-STAGE利用学会
JAIRO Cloud利用機関リポジトリ　等

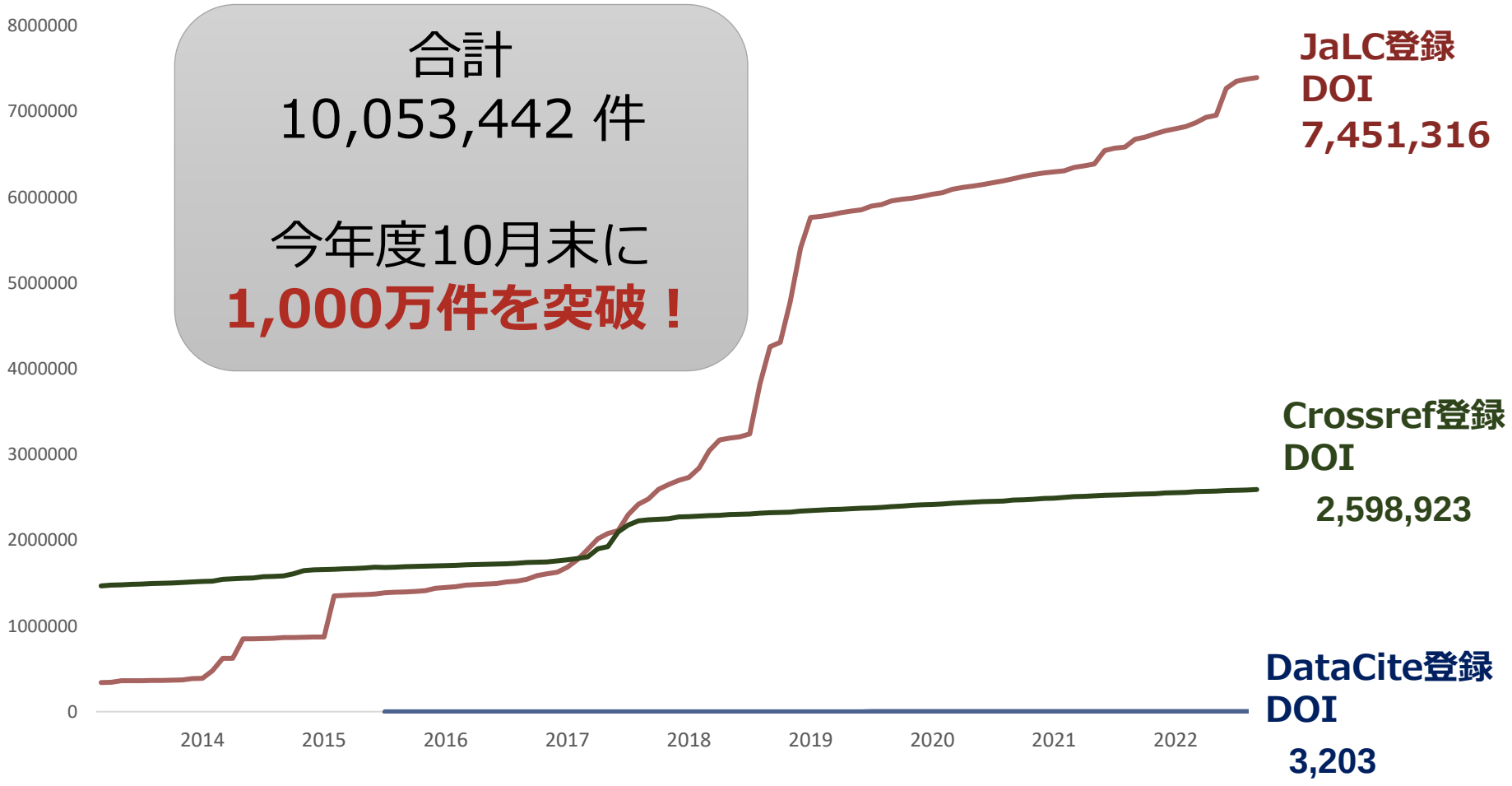
JaLCについて



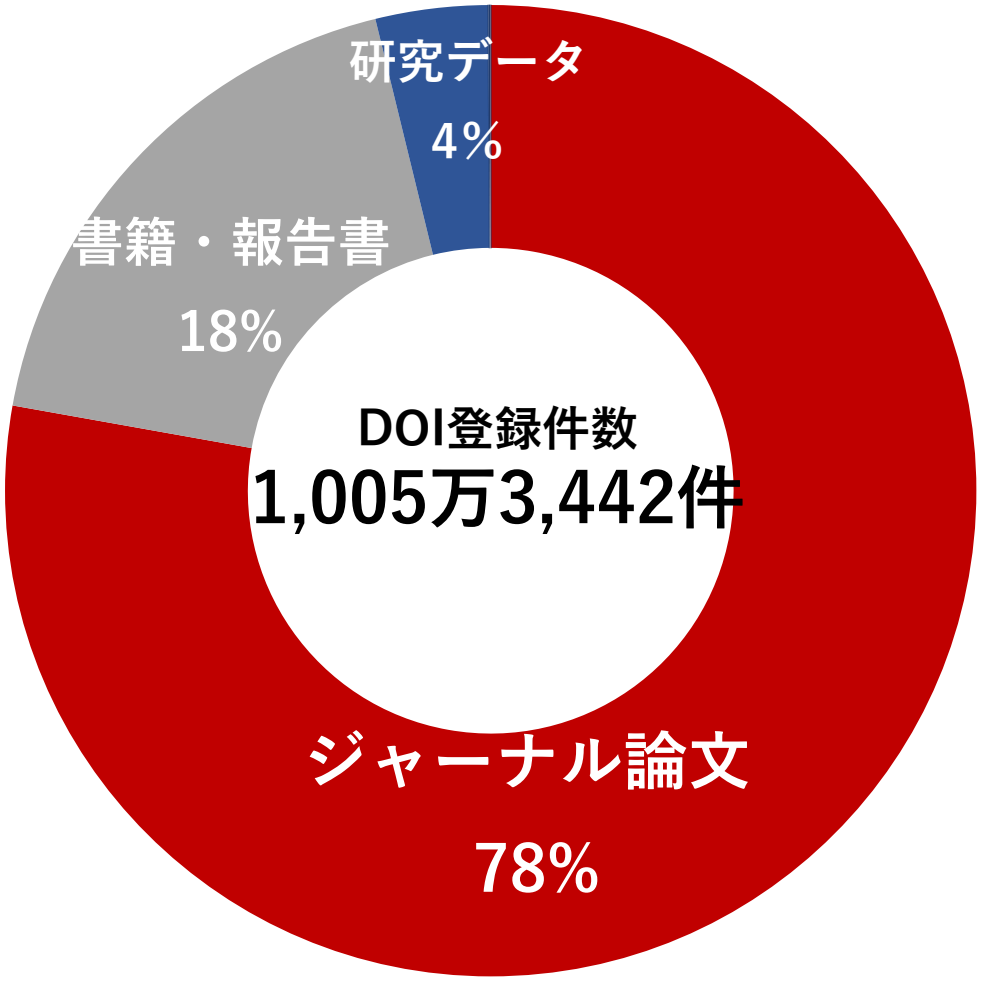
- DOI、URLをDOI財団に登録
- メタデータを管理
- JaLCはCrossref及びDataCiteの会員機関
  - 学術論文・書籍のDOI、メタデータはJaLC経由でCrossrefに登録可能
  - 研究データのDOI、メタデータはJaLC経由でDataCiteに登録可能

→CrossrefやDataCiteについては講演「JaLCにおける海外連携について」にて解説

JaLCにおけるDOI登録状況



JaLCにおけるDOI登録状況

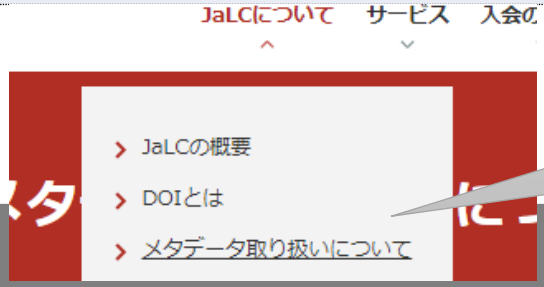


ジャーナル論文	780万件
書籍・報告書	180万件
研究データ	37万件
その他	7,246件

（2022年11月末時点）

抄録登録状況

	2020年度	2021年度	2022年度
JaLCに登録されているジャーナル論文	7,347,130	7,591,854	7,937,343
JaLCに登録されている抄録	2,398,406	2,470,248	2,549,475
抄録ライセンスフラグ「可」抄録	4,758 全抄録の0.2%	26,822 全抄録の1.0%	**44,965** 全抄録の1.8%
抄録を登録している正会員	41	44	48



JaLC　Webサイト
「JaLCについて」→「メタデータ取り扱いについて」

ORCID連携機能利用状況

ORCID　：研究者を対象とした国際的な永続識別子。
ORCID連携（手動）：　JaLCコンテンツ検索より自身の研究実績を選択し、ワンクリックでORCIDに業績登録する機能。
ORCID連携（自動）：　JaLC DOIが付与されたコンテンツを、研究者の業績情報としてORCIDに自動登録する機能。

（累計）	2020年度	2021年度	2022年度（11月末）
JaLCの機能を利用してORCIDに手動連携された業績数	9,184	15,769	17,871
JaLCの機能を利用してORCIDに自動連携された業績数	6	21	27
JaLC ORCID自動連携機能利用者数	39	59	67

コンテンツのメタデータにORCID IDを登録することで、自動連携可能になります。
研究者の業績管理負担軽減のため、
JaLCメタデータについて、ORCID IDの登録を推奨します。

ORCID連携方法

JaLC　Webサイト
「サービス」
→「その他のサービス」
→「ORCID」

ORCID連携

DOIを付与されたコンテンツの作成者（研究者等）を対象としたサービス
JaLCを通してDOIを登録した論文等に係る書誌情報等を、研究者
としてORCIDに登録することができます。
JaLCコンテンツ検索を通した手動での登録の他、自
RCID iDが含まれるJaLCコンテンツを、自動でORCIDへ業績登録するよう設定することもできます。
詳細についてはこちらを参照ください。

「こちら」より
ORCID連携方法のマニュアルを
ご参照ください。

→講演「JaLCにおける海外連携について」にて解説

2022年度の取組み事項

昨年度末実施事項(周知)
-JaLCコンテンツ検索改修

■ Web画面検索サービス「JaLCコンテンツ検索」の拡充

検索条件に指定できる項目の拡充

検索結果を正会員やISSN、RA機関機関等で絞り込めるソート機能追加

検索結果の一括DL機能追加

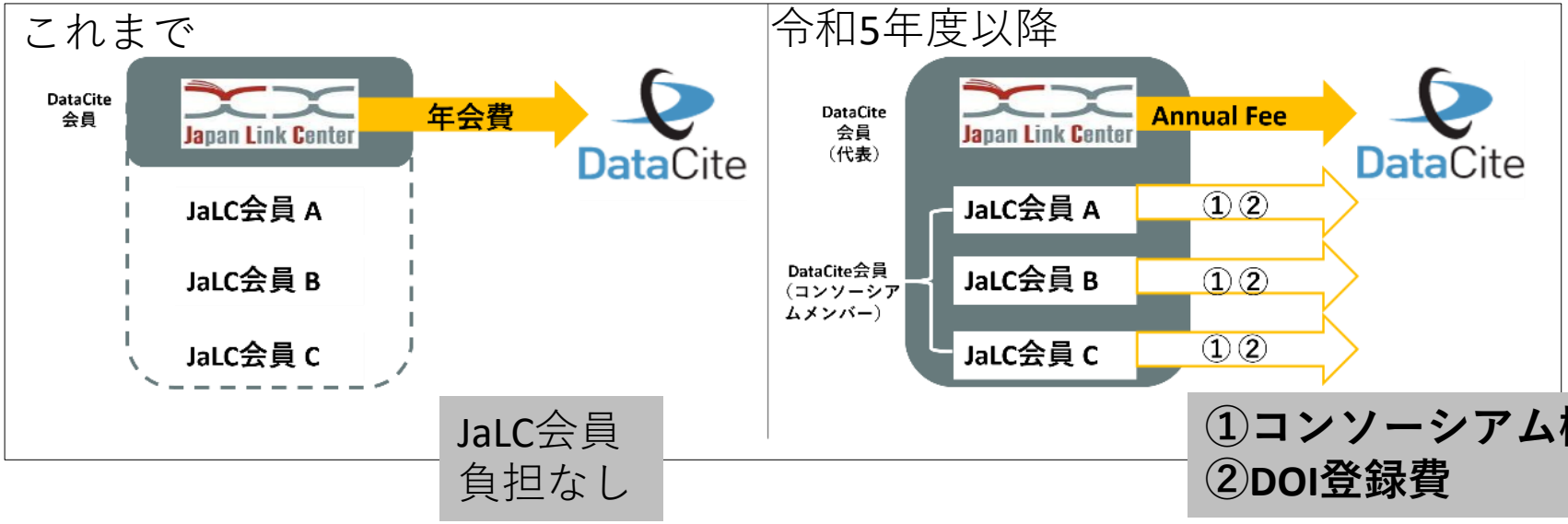
今年度実施事項
-JaLCWebサイト改善

■ **JaLC Webサイト改善**

JaLCのWebサイトについて、内容・構成等を見直し

今年度実施事項
-DataCite　コンソーシアム化対応

■ **DataCite　コンソーシアム化対応**



JaLC会員
負担なし

①コンソーシアム機関費
②DOI登録費　　必要

※既にJaLCを通してDataCiteを利用している会員には連絡済み

料金詳細については近日、全会員へ公開予定

今年度実施事項
-外部サービスに係る支払い

■ **外部サービスに係る支払いについて**

令和5年度4月　施行　ジャパンリンクセンター参加規約　改定版より

ジャパンリンクセンター年会費に加え、 CrossrefやDataCite等、

準会員分の実費についても正会員へ請求　が明記

※正会員のみなさまにおかれましては、ご理解ご協力の程、

よろしくお願いいたします。

ジャパンリンクセンター年会費を含めた
JaLCにおける料金詳細一覧について
近日、全会員へ公開予定

ジャパンリンクセンター年会費および外部サービス利用料金に関する手引き(案)

令和４年○月○日

ジャパンリンクセンター事務局

内容

1. 支払いの時期および方法　(共通) 2
2. ジャパンリンクセンター年会費 3
　〈正会員の年会費区分〉 3
　〈支払い内容〉 3
3. 外部サービスに係る費用について 4
　3-1. Crossref 利用料 4
　　〈支払い内容・費用〉 4
　3-2. DataCite 利用料 5
　　〈支払い内容・費用〉 5
　　〈加入初年度請求について〉 5
　3-3. 剽窃チェックサービス利用料金 7
　　〈支払い内容・費用〉 7

今年度実施事項
-JaLC REST API 一括ダウンロード

■ JaLC REST APIサービスにおける全データ一括提供について

JaLCが保有するメタデータの利活用促進を目的に、
JaLC REST APIサービスで取得可能な全データを一括で提供するサービスを開始。

詳細については下記まで
e-mail: info@japanlinkcenter.org

JaLC　Webサイト
「サービス」
→「情報検索・提供サービス」
→「③メタデータファイル一括提供」

より同様にご案内しております。

③　メタデータファイル一括提供

JaLCに登録されているコンテンツすべてに係るDOI、書誌データ、URIを圧縮ファイル形式により一括でダウンロードすることができるサービスです。
提供しているメタデータには、DOI、論文タイトル、著者名、出版社名、ISSN、巻、号、開始ページなどが含まれ、RDF/XML形式で構成されています。
出力フォーマットは「RDF/XML出力フォーマット」(PDF：78KB) から、RDF/XML出力のサンプルは「RDF/XML出力サンプル」(PDF：261KB) からご確認いただけます。

メタデータは、下記ページよりダウンロードいただけます。
ダウンロードのページ
※国立研究開発法人科学技術振興機構のwebページに移動します。
※メタデータは圧縮ファイル（tar.gz形式）で提供いたします。解凍してご利用ください。

今年度実施事項 (予定)
-類似性チェックサービス

■　類似性チェックサービスの開始について

JaLC利用会員向けとして近日、利用申請受付開始。

本サービスの利用により、意図せぬ剽窃の可能性を未然に防ぎ、論文等のより高い信頼性とクオリティーを確保する。

※以前より案内済みの「剽窃チェックサービス」より名称が変更。

本サービスは米国のTurnitin社が運営するオンラインツール「iThenticate」を、JaLC利用会員向けに提供する形で運用。サービスの対象は、JaLC DOIを登録済み・登録予定のコンテンツに限定。利用を希望する場合は、本サービスの利用規約に同意の上、利用申請書の提出とiThenticateのアカウント登録が必要。(有料)

JaLC　Webサイト
「サービス」
→「その他のサービス」
→「類似性チェックサービス」

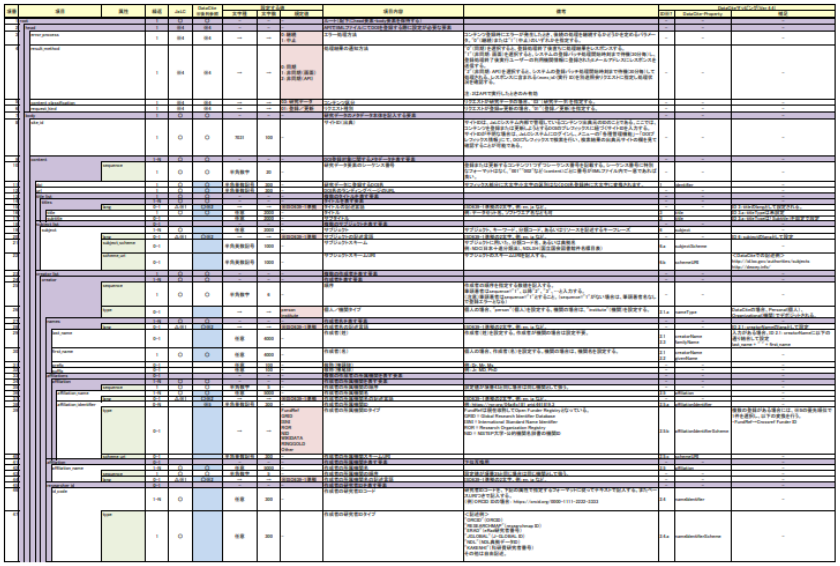
より順次ご案内いたします。
また「JaLC NEWS」等でもご連絡いたします。

今年度実施事項(予定)
-DOI登録マニュアルの改訂

■ **研究データ登録マニュアルにおけるXMLフォーマットガイドの作成**

実際にDOI登録ならびにメタデータ入力をされている会員さまよりご意見を頂戴しながら、 XMLフォーマットガイドを作成中。定義ファイル(xsdファイル)も公開予定。

※公開となった際には「JaLC NEWS」等にてご連絡いたします。



3.2.2 url

説明	DOI 名のランディングページの URL
繰返	1
文字種	半角英数記号
文字数	300

RA 毎の制約事項

登録する DOI の RA	制約事項
JaLC	必須で指定する。
DataCite	必須で指定する。

サンプル

```
<url>
</url>
```

今年度実施事項
-新規ストラテジー

■ **ジャパンリンクセンター新規ストラテジー・アクション案**

「ジャパンリンクセンターストラテジー2017-2022」は今年度をもって、
終了となるため、次期5年に向け、「新規ストラテジー・アクション案」を作成中。

会員の皆様におかれましては今年度春頃、
「評価シート」「アンケート」にご協力くださり、ありがとうございました。
現在の新規ストラテジー・アクション案について、ご意見がございましたら、
ぜひイベント開催後のアンケートにてコメントをお願いいたします。

【内容】
「ジャパンリンクセンターストラテジー2017-2022」を下記の通り変更

- 目標として達成できている箇所の見直し　例)ORCID連携 など
- 実現の難しい箇所の削除や見直し
- 今後の5年に新たに必要と思われる項目の追加

今年度実施事項
-新規ストラテジー

新規ストラテジー	新規アクション
1. 国際的な協調を図りつつ、日本における学術リソース、学術環境、言語等に対応した DOIの登録、利活用環境を整備します。	1-1. 日本の学術リソースへのDOI登録インフラ環境を整備します。 1-2.会員への柔軟なDOI登録支援を行います。
2.学術において必要な様々なリソースへのDOIの登録を促進させます。	2-1. 研究者が利用する様々なリソースへのDOI登録のため、メタデータ登録情報の整備を行います。 2-2.ユーザーに対し多様なリソースへのDOI登録の利用促進を行います。
3.DOI やメタデータのオープンな利活用を推進します。	3-1.他のIDサービスとの連携を行い、学術インフラサービスや学術情報サービスとの連携を強化します。 3-2. JaLCにおけるメタデータ検索機能の充実、DOIの利用状況の提供に取り組みます。 3-3. ユーザーの意見を収集し、研究環境の変化に応じたサービス開発を目指します。
4. オープンサイエンスの推進に向けて、研究データの利活用の促進に取り組みます。	4-1. 研究データのDOIに対して、国内外の組織と連携し、研究データ利活用を促進させます。 4-2.研究データ利活用協議会(RDUF)との協力関係をより強化します。
5.DOIを活用する学術コミュニティの活性化に貢献します。	5-1.DOI活用促進のために、イベント等を通じて、DOIの理解を深めると共に、ユーザー同士のコミュニケーションを促進させます。
6. コミュニティのニーズに応える、透明性の高い持続的な組織運営を目指します。	6-1.DOIが長期的に運用されていくために、DOI登録を担う日本の学術インフラ機関としてのあり方を検討し、拡充します。

→講演「ジャパンリンクセンター新規ストラテジー」にて解説